

「AMG協議会ニュースは、AMG協議会各部署からAMG全職員への情報発信を目的としています」

2022  
No.063  
月号AMG News!  
AMG協議会ニュース

February

上尾中央医科グループ  
AGEO MEDICAL GROUP編集・発行人 AMG協議会総務部 広報室 <http://www.amg.or.jp>  
〒362-0075 埼玉県上尾市柏座1-10-3-58 TEL:048-773-1113 FAX:048-773-7116  
監修/(株)寿エンタープライズ 制作/(株)博愛社

看護本部

## + AMG看護本部の教育体制について特集ページが掲載されます!!

看護教育部の島尻部長が株式会社メディアプラン制作発行「看護学生のための情報誌FLAP!」の取材を受けました。これから看護師を目指す学生に向けてAMG共通のラダーシステムと2021年度からスタートした「AMGセルフ・キャリアドック制度」を用いた一人ひとりのキャリア形成と組織の成長を目指したAMG看護本部の教育体制についてお話されています。

入職後、自分は何をしたいのか歩んでいきたい未来を見据えながら目標を掲げ、どの様に実現させていくのかキャリア形成について大切なポイントが詰まった内容となっています。

また、WEB版の「FLAP!ナビ」では林看護局長と津田沼中央総合病院・三郷中央総合病院・伊奈病院の2年目看護師3名との対談の様子が掲載されています。実際に入職して感じた新人教育体制やAMGのサポート体制の魅力についてお話されていますので是非ご覧ください。



看護師になるための情報サイト

FLAP!ナビ

<https://www.kangoshinomado.com/>  
(株式会社メディアプラン)

## + キャリアコンサルタント合格



AMG協議会 看護本部 兼務 特別養護老人ホームあけぼの 介護科長 岩崎 太郎

第18回キャリアコンサルタント国家試験に合格しました。

人生100年時代、人口減少社会、多様な人財活用と環境変化が大きな時代となり、今後ますます組織と個人の調和が求められる時代になっていくことと思います。

個人の自己概念の成長を通して自分自身の人生を豊かにしていく。働く個人が豊かであれば組織は発展し、患者・利用者もハッピーである。そんな学びを得ることができました。

自分自身を見つめ直し、自分を理解する良い機会です。「看護師・介護福祉士×キャリアコンサルタント」という切り口で仕事を見つめ直すのも良いのかもしれないね。

## キャリアコンサルタントとは?!

キャリア形成や職業能力開発などに関する相談・助言を行う専門家として2016年4月に職業能力開発促進法に規定された国家資格です。企業・組織においては、キャリアコンサルティングを通じて、職員の自らの課題の気づき、自発的な職業能力の開発などの取組を促すことができるようになります。

## 2021年度 看護管理者マネジメント研修

キャリアサポートセンター

12月19日、日本看護協会会長 福井 トシ子氏・日本看護協会参与 友納 理緒氏をお迎えし、看護管理者に向けたマネジメント研修を開催しました。

友納氏より、コロナ禍における看護職の役割について弁護士の視点から講義がありました。看護水準をどのように考えるか、感染対策の水準をどのように判断するかなど、ポイントを教えていただきました。福井氏からは、「コロナ危機から得た教訓を看護管理に活かす」というテーマで、新型コロナウイルス感染症対応における看護提供の現状・課題や今後の看護提供対策の構築・推進に向けた内容で元気とパワーを頂けた講義でした。今後の看護管理に活用していただければ幸いです。



日本看護協会会長 福井トシ子氏



日本看護協会参与 友納理緒氏

## 2021年度 看護学生実習指導者講習会終了!!

6月8日に開講した看護学生実習指導者講習会が、33日間の講義・実習指導方法演習を終えて11月30日に修了しました。

オンライン研修ということもあり、宮城、静岡からの受講者も得られました。

また、オンラインでの研修がスムーズに運営できるのか案じておりましたが、研修本来の目的とともに、「患者様に普段どんな看護を提供しているのか」「自部署の看護をしっかりと意味づけし、根拠をもって学生指導できるのか」等、現場での実践に向けてしっかり考えることができていました。閉講式後は、受講者の皆さんも感慨ひとしおの様子でした。研修で学んだ知識や知恵を、ぜひ現場の実践に役立てて欲しいです。



### 【受講者の声】

- ・看護学校を卒業し座学から離れていたのが、最初は大変でしたが回を重ねる度、火曜日、水曜日が待ち遠しくなりました。
- ・今後指導者になり、学生さんと関わる中で、学生さんの患者さんに対する思いや新鮮な意見・発見を可能な限り汲み取り、患者さんにとって良い看護を共に学んでいきたいです。
- ・学生が学ぶ姿勢をもって実習に来るように、私自身も指導者として学生に学んでほしいことを明確にし、責任をもって指導が行えるように、日々向上心を忘れずに、学びを深めていきたいです。



## 2022年度 キャリアサポートセンター 研修一覧



## ◆ 看護師対象

## 日本看護協会認定 認定看護管理者教育課程

研修名	日程および期間	定員	受講料(税込)	申込期間	選考通知
ファーストレベル	5月20日(金)～8月26日(金) 原則 週2日/金・土曜 計20日程度	70名	150,000円	2月21日(月)～3月31日(木)	4月下旬
セカンドレベル	2023年 9月2日(金)～2月3日(金) 原則 週2日/金・土曜 計33日程度	30名	210,000円	4月21日(木)～6月30日(木)	7月下旬
看護マネジメント研修 (ファースト・セカンド・サードレベル修了者) 及び看護管理者	未定 半日	100名	3,000円	詳細はホームページをご確認ください	

## 厚生労働省許可

看護学生実習指導者講習会	6月21日(火)～11月30日(水) 原則 週2日/火・水曜 計45日程度	90名	98,000円	2月21日(月)～3月31日(木)	5月中旬
--------------	--	-----	---------	-------------------	------

## ◆ 介護福祉士・介護職対象

## 厚生労働省委託

介護福祉士実習指導者講習会	11月24日(木)～12月22日(木) 原則 週1日/木曜 計5日程度	40名	27,000円	8月22日(月)～9月30日(金)	10月下旬
---------------	--	-----	---------	-------------------	-------

## ◆ 医療職全般対象

## 診療報酬加算対象

医師事務作業補助者研修	5月10日(火)～6月9日(木) 原則 週2日/火・木曜 計9日程度	100名	23,000円	2月21日(月)～3月31日(木) ※定員になり次第締切	
厚生労働省「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」 医療安全管理者養成研修	2023年 1月7日(土)～2月25日(土) 原則 週1日/土曜 計7日程度	50名	64,000円	9月20日(火)～11月30日(水) ※定員になり次第締切	
医療安全管理者研修 (修了者フォローアップ研修を含む)	未定 1日	100名	5,000円	詳細はホームページをご確認ください	

## ◆ 一般研修

トピックス研修	未定 半日	100名	3,000円	詳細はホームページをご確認ください	
---------	----------	------	--------	-------------------	--

(2021年11月現在)

研修によっては1日または半日のものがあります。  
また、研修日程は変更する場合がありますので、必ずホームページをご確認ください。

上尾中央医科グループ協議会  
キャリアサポートセンター〒362-0036 埼玉県上尾市宮本町 10-29  
AMG 学習館 3階

受付時間 【平日】 8:30～17:30 【土曜】 9:00～12:00

TEL 048-773-8111 Mail k-center@amg.or.jp

URL [https://amg.or.jp/career\\_support/](https://amg.or.jp/career_support/)

# 日本医師事務作業補助研究会 第10回全国大会が行われました!

人財開発室

令和3年9月19日(日)に特定非営利活動法人日本医師事務作業補助研究会 第10回全国大会が開催されました。(当日、LIVE配信、一般演題発表は、オンデマンド配信)今大会は、節目となる第10回の記念大会であり、初めてのオンライン開催で、全国各地から大勢の視聴者により盛大に開催されました。

一般演題発表は90題がエントリーされ、AMGでは、11施設、15演題がエントリーされました。今回の演題のカテゴリーは、これまでの「人材育成」「タスクシフトの取り組み」などだけでなく、「COVID-19に関する対応」「オンライン診療」というコロナ禍を踏まえた発表があったことも特徴です。

日本医師事務作業補助研究会は、医師事務作業補助者の実務能力の向上、業務環境の改善、医師事務作業補助領域の開発及び普及に関する事業を行うことにより、勤務医の負担軽減等に貢献し、医療の質の向上に寄与することを目的とした活動を行っています。令和4年度の診療報酬改定でも大きくクローズアップされていますが、AMGでも外来の診療支援、医療文書作成など様々な活動を通して、たくさんの医師事務作業補助者が活躍されています。現場では、医師事務作業補助者の診療支援があることで、様々な効率性が高まります。また、これらは、医療の質向上だけでなく、患者満足度アップにもつながっています。

今回、協議会newsに特集させていただいた理由は、他のAMG病院の医師事務作業補助者の活躍を学ぶことと、発表チームの活躍を多くのAMGの職員にお伝えしたいからです。

また、事務職E-JIMU(AMG医療マネジメント職ハイブリット育成 e-ラーニング)に医師事務カテゴリーを追加し、15題の全ての発表動画を掲載しました。

今後、人財開発室としても、E-JIMUをさらに充実させ、AMGの医師事務作業補助者のスキルアップを支援していきます。



## 久保田総局長より

令和4年度のAMG方針にも大項目「継続的質改善の取組」の一つに「タスク・シェアリング/シフティングやチーム医療の推進」が掲げられています。医師事務作業補助者は、近年、補助者としての役割を超えて、診療支援の他、効率化、医療の質向上、症例登録などの幅広いスキルが求められ、既に、様々な医療現場の基本的なインフラとなっています。今後も、高度な能力を有するプロフェッショナルとして、さらに多くを求められることでしょう。しかし、医師事務作業補助者が、専門職種としてのさらなる自立を図るためには、AMG組織全体で育成支援に取り組んでいくことが、さらに求められています。

今回に掲載された取り組みの発表動画は、フェーズは導入期～成熟期まで様々ですが、とても興味深い内容となっています。

是非、医師事務作業補助者だけでなく、多職種の幹部の方にも、みていただきたいと思っています。それぞれのフェーズで参考となる内容になりますので、温かい視点で確認していただけますようお願い致します。



## 発表内容の紹介

優秀賞	施設名	演題名	筆頭演者
🌸	上尾中央総合病院	医師承認率100%への取り組み	竹内 理奈
	上尾中央総合病院	DA主体の外来実現に向けた教育の取り組み	渡辺 愛未
	吉川中央総合病院	医師業務軽減のための取り組み	小池 仁穂
🌸	白岡中央総合病院	補装具作成時における医師事務作業補助者の役割とその効果	岡田 郁里
🌸	津田沼中央総合病院	Googleフォームを利用したタスクシフトシェアへの早期着手	菊地 千聡
🌸	津田沼中央総合病院	外来診療の待ち時間削減による医師の業務負担軽減への取り組み	伝福 彩香
	三郷中央総合病院	医局秘書の業務範囲と業務内容の検討	淵上 怜菜
	船橋総合病院	COVID-19に対する医師事務の関りについて	下山 優子
🌸	彩の国東大宮メディカルセンター	「今忙しい」医師の口癖を減らそう ～リウマチ性疾患の臨床調査個人票の取り組み～	弓削 真理子
🌸	彩の国東大宮メディカルセンター	「だめ絶対!肝炎患者を見過ごすな」 医師代行業務を通じた肝炎治療への取り組み	森山 真奈美
	伊奈病院	人材育成に向けた“私たちのレシビ” ～外来検査予約業務編～	菅原 由伎
	メディカルトピア草加病院	診療のプロセスにおけるタスクシェアリング ～医師事務作業補助者による問診代行入力への導入～	竹内 奈央
	メディカルトピア草加病院	代行入力独立に向けて ～トピア婦人科モデル 2920日間の軌跡～	鈴木 沙季
	西大宮腎クリニック	医師事務作業補助者による患者データベースの作成 第1報	遠藤 美鈴
	前橋中央眼科	眼科クリニックでの医師事務補助による診療支援効果	高橋 英里

## 施設名

🌸【演題名】 【所属部署】 【名前】  
↑優秀演題賞を受賞した演題には、マークが付いています。

【発表内容の要約】

発表者または  
メンバーの写真

【優秀演題受賞につきコメント】

## QRコードから各発表動画をご覧いただけます!

AMG ポータルサイト>E-JIMU を選択していただき、  
ご覧になりたい動画をクリックしてください。

閲覧にはポータルのログインID・パスワードが必要となります。

**閲覧は AMG 職員に限定しております。**



# E-JIMU



## 上尾中央総合病院

### 🌸 医師承認率 100%への取り組み 外来看護科 竹内 理奈

当院の代行入力は研修医の承認システムを代用しているため、DA自身で承認/未承認の把握ができず承認率90%台が数年続いていた。電子カルテプレイスを機にコメディカルToDo機能と統計ツールを活用し未承認は減少したが、100%には至らなかった。要因として統計ツールに対するDAの理解や運用に差が見られた。また、医師は自ら承認を行わず承認意識の低さも判明した。そこで承認要請手順やツールの運用方法をマニュアル化し周知徹底を行ったことで、医師・DA共に承認意識の向上や意識改革することができた。その結果、承認要請から確認までのPDCAサイクルが確立し承認率100%の達成に至った。

今回の貴重な経験を通して「人に伝える力」を学びました。今後は自分の経験を伝えていくことで高めていき、コミュニケーション能力の向上にも繋げていきたいと思えます。



### DA主体の外来実現に向けた教育の取り組み 外来看護科 渡辺 愛未

専門内科(6科)にDAを導入しDA主体の外来診療支援を目標に、医師の事務的業務と作業時間を調査した結果、看護師が医師の事務作業を担い看護業務に専念出来ていない状況が分かった。

そこで外来業務を見直し、業務の効率化と分業を図り看護師と共通のマニュアルを作成することでDA業務を確立しラダーを作成した。指導者の変更により進捗に遅延が見られた為、チェックリストを見直し細分化を行った。また、ラダーでは評価不十分な倫理や目標管理等をカンファレンス開催(新規業務やインシデントの検討・教育状況報告)で補い、看護師と情報を共有し自立への成長を促した。今回の取り組みにより看護師の人員削減にも貢献でき、更なる外来診療支援の充実を目指します。

## 吉川中央総合病院

### 医師業務軽減のための取り組み メディカルクラーク 小池 仁穂

医師の事務作業負担の軽減をするために、医師が業務に専念できる体制を整備し、効率的な業務運営を行うことを目的として以下の業務提供に取り組んだ。

- ・診療補助業務介入により、診断書や診療情報提供書の即時完成が可能となった。
- ・退院サマリー管理担当者主導のもと、進捗把握が出来る体制を構築し日厳守が継続となった。
- ・検査オーダー入力・検査および診察の日程調整・説明文書作成等を代行することで、外来診療の時間短縮に繋がった。
- ・医師のスケジュール管理、IC日程調整に介入することで、情報を集約し、依頼、処理業務がスムーズに行えた。

今後は、研修内容の質の向上、個人のスキルアップを目指し、貢献していきたい。



## 白岡中央総合病院

### 🌸 医師業務軽減のため取り組み メディカルクラーク 岡田 郁里

補装具作成時に不備やインシデントが発生したため、補装具作成の一連の流れに医師事務作業補助者が介入することとしました。勉強会の開催、補装具処方箋システムの構築、補装具作成表の考案をし、業務改善を行いました。取り組みの結果、インシデントの大幅な減少、医師・多職種への負担軽減に繋がりました。MC全員が装具についての知識が向上し、効率よく装具作成を行うことができるようになり、病院と義肢装具士とのパイプ役となることが出来ました。今後も迅速な対応が出来るよう、業務フローの見直しを行い、更なる業務の効率化を目指し、知識向上のため、定期的な勉強会を行い、新人教育にも力をいれていきたいと思えます。



今後も医師事務作業補助者として院内の潤滑油となれるよう多職種と協力して、医師の負担軽減、病院に貢献できるよう業務に励んでいきたいと思えます。

## 津田沼中央総合病院

## 人財開発室

### Google フォームを利用したタスクシフトシェアへの早期着手 メディカルサポート室 菊地 千聡

現在、医師の業務負担軽減の取り組みとして日々の業務量や要望・意見を把握・検証するためのアンケートを実施。結果を関連部署・委員会にシェア。この方法では取組むまでに実際1~2年かかっている。その間に新たな要望・意見が発生し、抽出した情報が古くなる。早期アプローチするためにGoogleフォームで「業務日報」の作成を考えた。この業務日報に日々の業務で発生する「要望・意見」を空き時間に各自のスマートフォンから入力。入力内容の調査は役職者以上で1~2週間内に着手、シェア。早期対応することで医師の業務負担軽減、診療の充実にも繋がると考えた。



私は、40代で人生初めての演説発表をしました。「今頃?」という羞恥心が第一の感想です。新しいことに挑戦させてくれた職場環境に感謝を覚えました。自信を持つ事もでき、色々な事に挑戦していきたいです。

### 外来診療の待ち時間削減による医師の業務負担軽減への取り組み メディカルサポート室 伝福 彩香

背景: 診療待ち時間の長い脳神経外科A医師外来は、半数以上が認知症患者である。認知症は丁寧な傾聴が重要で診療に時間を要す為、最大11時間の待ち時間が発生。診療体制整理、待ち時間削減と医師の負担軽減を図った。

方法: A医師外来を完全予約制、1日33名、診療時間1名10分に制限。患者へ相談内容集約をアナウンス。処方日数と定期検査の周期を考慮し通院サイクル確立。

結果: A医師診療待ち時間は1時間未満となり、事前アナウンスが診療の円滑化、医師の外来診療業務量の分散が業務負担軽減へ繋がった。

考察: 患者ニーズ把握、診療体制の定期的見直しや提案が医師の負担軽減や診療効率化へ繋がり、継続的な課題と考える。

今回優秀賞をいただき、学会発表までにお力添えいただいた沢山の方々に感謝しております。医師と患者の近くで働く私達医師事務が、今後も意識を高く変化するニーズや状況に合わせ業務にあたっていきたいと思えます。

## 三郷中央総合病院

## 船橋総合病院

### 医局秘書の業務範囲と業務内容の検討 診療秘書課 淵上 怜奈

三郷中央総合病院は、医師事務作業補助者25名を配置し医師事務作業補助加算1(15対1)取得している。立ち上げから10年、医局へ配置してから2年が経過した。しかし、医局配置は医局員交代が定期的であり、業務が限定的で、業務拡大に着手できていない背景があった。医師からは業務拡大の希望も出ており、検討の機会が必要であった。特に、文書作成の件数は年々上昇しており、件数増を目指し、検討会を設置した。検討会の目的は、業務内容の見直し及び業務拡充の計画立案である。検討会を実施した結果、職員の意識の変化や新規業務の設計を研究の成果として報告する。



### COVID-19 に対する医師事務の関りについて

医療秘書課 下山 優子・谷登 志美

当院では新型コロナウイルス感染症が流行り始めたころより発熱外来・接触者の検査や診察・陽性者の入院受け入れなどを行っている。当初の医師事務作業補助者の業務は、診察前の検査オーダー入力、陽性者の発生届の作成、指定感染症検査票の作成のみを行っていた。発熱外来受診の患者の増加に伴いPCR検査の依頼件数と診療時間の増加し、医師や看護師の負担もかなりのものになっていた。医師事務作業補助者でも行える保健所への電話連絡・患者情報のカルテ入力・HER-SYSへの発生届入力等を増やすことで、医師・看護師の負担軽減を図った。



## 彩の国東大宮メディカルセンター

### 「今忙しい」医師の口癖を減らそう ~リウマチ性疾患の臨床調査個人票表の取り組み~ 医療クラーク課 弓削 真理子

当院リウマチ膠原病科は患者数が多いが常勤医師1名のため非常に多忙であり、依頼される臨床調査個人票作成が多い。PC操作が不得意で診療録の内容が十分とは言えず、臨床調査個人票作成に際し必要事項検索が困難で確認箇所が多くなり医師・医師事務双方に負担が大きかった。そこで診療録記載の充実、医師の診療録入力負担の軽減、臨床調査個人票作成時間の短縮を目的とし紙運用で疾患別症状確認シートを作成。必要項目を医師が記入、医師事務が電子カルテへの代行入力・臨床調査個人票作成を行った。作成時間が短縮し、医師への確認箇所も激減した。また診療録の質の向上、医師・医師事務の負担軽減へとつながった。



代行入力等タスクシフトにより医師の業務負担軽減となり「今忙しい」ではなく「今後もよろしく」と言って頂けるようになりました。引き続き多忙な医師の負担軽減につながるよう頑張っていきたいと思えます。

### 「だめ絶対! 肝炎患者を見逃ごすな」 医師代行業務を通じた肝炎治療への取り組み 医療クラーク課 森山 真奈美

ウイルス性肝炎の治療進歩に伴い、従来は治療困難であった症例も治療可能となった今日。しかし偶発的に発見された陽性患者が適切な治療を受けるに至らず見過ごされている。当院も同様の状況にあったが、消化器内科部長は外来患者数・受持ち入院患者数が院内で最も多く多忙を極めており一連の業務実施は困難。そこで医師事務作業補助者が受診動奨→肝炎助成制度説明依頼→受給者証診断書作成→診療予約調整、保健所との連絡調整、症例データ管理をサポートすることとした。今回の介入によりスムーズな治療が可能となり医師は治療に専念することができた。また肝炎治療におけるチーム医療を構築できた。



今回の取り組みを通して医師事務作業補助者として活躍できる場面がまだまだ沢山ある事を実感しました。今後も医師の業務負担軽減及びチーム医療に貢献し、更なる向上を目指していきたいと思います。

メディカルピア草加病院

人財開発室

診療のプロセスにおけるタスクシェアリング  
～医師事務作業補助者による問診代行入力の導入～

メディカルパートナーズ 竹内 奈央

多くの患者が訪れる外来は、待ち時間や診療時間に課題があった。その中で、全ての外来医師に支援ができないか模索し、医師事務作業補助者による診察前問診代行入力の導入を行った。当院は問診票や紹介状はPDFにせず、原本のまま外来に回る。この内容を入力、医師は診療録作成の一部として使用し、追記することで容易に診療録を完成させることができ、待ち時間や診療時間の短縮が実現した。また、看護師と協働・連携をとり、詳細な情報を事前聴取することで、医師は最短時間で診察開始、より丁寧な診療が可能、全科全外来医師へ支援に至った。患者が集中しやすい午前中に代行入力を行うことで、外来効率化と充実化を図る取り組みに成功した。



代行入力独立に向けて  
～トピア婦人科モデル 2920 日間の軌跡～

メディカルパートナーズ 鈴木 沙季

当院婦人科は低侵襲治療を中心とし、多くの患者が手術希望で受診する。医師事務作業補助者は医師が専門性を十分に発揮し、質の高い支援ができるよう「トピア婦人科モデル」として教育活動を行っている。2つの柱として「行動を共にするプリセプター制の導入」「代行ラダー表を用いた長期短期目標設定」を掲げた上で目的意識を高め、達成意欲の向上を促す。そして「代行演習」を繰り返すことでステップアップにつながり、約3か月で医師1名に対して独立、1年後には医師5名の独立が可能となる。一定の高い質が担保できるこの教育指導のプロセス化は当科の確固たる自信となり、日々の代行業務を行うためのシステム構築ができた考える。

伊奈病院

人材育成に向けた“私たちのレシピ” ～外来検査予約業務編～

診療秘書課 菅原 由伎

業務拡大、課員増員に伴い新人教育が課題となり外来検査予約業務における新人教育ラダーの作成を行ったので報告する。

まず、マニュアルの重要点とマニュアル以外の注意事項を洗い出し、検査項目ごとに分けた。

次に食事制限の必要性の有無や複雑な検査へ次々にレベルアップするチェックシートを作成し可視化。

ラダーを共有した結果、指導者の重複説明が防がれ業務効率が向上。新人はステップアップを実感し、高い成長意欲をもって予習や復習、疑問点の解消や質問を積極的に行なえたことで業務習得時期が早まった。

また、今回の取り組みは新人教育の手順や学習内容の標準化にもつながり、指導者・新人双方にとって有効なものとなった。



西大宮腎クリニック

医師事務作業補助者による患者データベースの作成 第1報

地域連携課 遠藤 美鈴

当院は、透析専門クリニックとして外来維持透析の診療を行っている。透析患者は合併症や、シャントトラブル等で複数の医療機関を受診するため医師同士で患者の情報を頻りにやり取りする。今回、医師事務作業補助者が患者データベースを作成し連携の支援を開始したので報告する。

取り組み・患者状況をデータベース化し、紹介元医療機関医師に透析状況や生活状況などを報告。

当院医師より・紹介状作成時に患者情報を詳細に記載できるようになり、患者の疾患や背景などが把握しやすくなった。

考察・医師間の連携強化と患者の治療に貢献でき、医師事務作業補助者の業務拡大になると考える。



前橋中央眼科

眼科クリニックでの医師事務補助による診療支援効果

地域連携室・診療支援室 高橋 英里

当院は手術を中心とした眼科クリニックとして、医師がいつでもベストな状態で手術が出来るように医師への診療支援に取り組みました。取り組み内容は、各種診断書の作成、電子カルテの代行入力、オーダーセット内容の組み直しと検査機器との連動、予約日時や医師の振り分けの調整、手術の予約や管理のシステム化です。診療支援効果は、医師が手術や診療に専念出来ることで、より質の高い医療の提供が出来るようになり、何より患者様と向き合う時間が増えたことで患者様の満足度も上がり、クリニック全体の評判を高めることにも繋がれたと考えられます。そして携わった医師事務スタッフのスキルアップにも繋がったことも大きな効果と考えます。

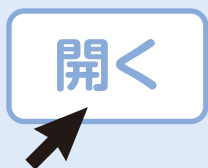


E-JIMU「医師事務」カテゴリ開設!

医師事務作業補助者の育成支援として、事務職E-JIMUで「医師事務」カテゴリが開設されました。

今後も他カテゴリ同様に、コンテンツの充実を図っていきます!

閲覧はAMG職員に限定しております。



E-JIMU



人財開発室

2022年度  
AMGワークアウト  
ファシリテーター研修会  
新任講師キックオフ開催報告

2021年12月13日にAMGワークアウトファシリテーター研修会新任講師のキックオフを実施しました。

今回のキックオフ研修会は、新任講師は協議会ビルより、前任講師の半数はオンライン（Zoom）より参加というハイブリット形式での開催となりました。

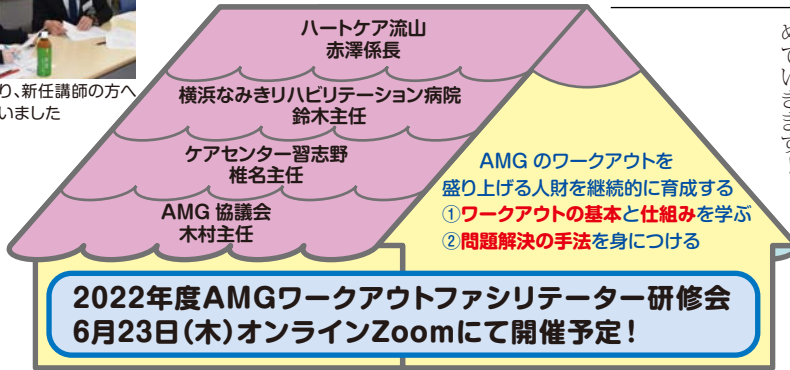
当日は、久保田総局長からの挨拶に始まり、新任講師への委嘱状授与、講師と研修会運営スタッフによる自己紹介を行いました。後半は、ファシリテーター研修会に関する講義内容について、前任講師から新任講師へ引き継ぎを行いました。



▲久保田総局長と、新任講師・前任講師のみなさん



▲前任講師より、新任講師の方へ引き継ぎを行いました



屋根瓦方式とは、講師を務めた人が、次の講師を育てる側に回る、これを繰り返しながら知識や講義内容を継承していくことです。教える側と教えられる側が、「共に学ぶこと」を目指しています。

学びのある研修会になる様、新任講師と運営スタッフにて準備を進めていきます！

2021年度  
AMG係長以上全体研修会  
フォローアップ(オンライン)  
開催報告



▲講師の下田静香氏



▲オンライン研修会の様子

2022年1月21日に、2021年度AMG係長以上全体研修会フォローアップをオンライン（Zoom）で開催しました。

初開催となる係長以上全体研修会フォローアップですが、開催の目的は大きく2つあります。①6月に開催した「係長以上全体研修会」の学びと実践を振り返る場とすること、②今年度のAMG方針「革新」の「目標管理」をフォローすることです。

講師は、6月の研修会に引き続き、株式会社エイトドアより下田静香氏をお迎えしました。当日は、AMGの管理職850名の参加申込みがありました。

研修会前半は、今年度の年間事業計画の評価と振り返りを行い、後半は前回の研修会より質問があった人財育成の視点から、部下との面談で気を付けたいポイントを学びました。

前回6月の研修会報告書で参加者より寄せられた質問の中から、目標管理に関する項目を抜粋し、「目標管理Q&A」を作成しました。今回のフォローアップでも、質問を再度募集し、Q&Aに追加していきます。

リーダー職みなさんの目標管理能力の更なる向上を支援していきます。



▲AMG協議会より参加の様子



▲上尾中央総合病院より参加の様子

2021年度  
AMG職員意識調査・職員やりがい度調査  
実施



2022年2月より、全職種・全職員を対象として、AMG職員意識調査・職員やりがい度調査を実施しています。

今年度も、web方式の実施となります。web化により、各施設担当者の業務負担削減や実施・回収・結果報告までの時短化などのメリットがあります。また、職員の声を吸い上げ、早期活用を目指します。

AMG職員全体が、安心して働くことのできる環境整備と、永続的な質の高い医療と介護を提供するために、職員一人ひとりの前向きな意識が大切です。率直な意見をお聞かせください。

みなさんの声、お待ちしております！

**パソコン・タブレット・スマホ**  
いずれの端末からでも接続可能です

AMG ポータルよりログインし、回答してください



(AMGポータルへアクセス)  
<https://amgsys02.site:8024/portal/>

**AMG職員意識調査**

※全施設対象

AMGの組織傾向とAMGの意欲の根源を知ること

5つのカテゴリー44設問から構成されています。

経営方針・病院施設運営・人事制度・職場の雰囲気・ご自身について、終年で比較や分析ができます。

**職員やりがい度調査**

※病院・老健のみ対象

より質の高い医療の提供を目指して、組織運営や職場環境の課題を把握すること

11設問から構成されています。調査データは、病院機能評価機構へ流れ集計されます。ベンチマーク結果について、他病院老健と比較することができます。

2021年度  
**AMG意識調査・職員やりがい度調査** 実施概要

**実施期間** 2022年2月1日(火)～2022年2月28日(月)

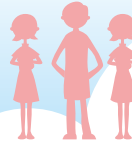
**対象者** AMGで働く全職員(パート医師・派遣スタッフ除く)

**実施方法** web方式(パソコン・モバイル端末より接続可能)



上尾中央医科グループ

# 医療の質向上委員会



お問い合わせ先 | AMQI事務局 (上尾中央総合病院 組織管理課) e-mail ▶▶ omr@ach.or.jp

## 連載 第54回 「AMG検査部 タスク・シフト/シェアの推進に向けて」

令和3年5月28日に「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が公布され、医療関係職種の業務範囲の見直し「タスク・シフト/シェアを推進し、医師の負担を軽減しつつ、医療関係職種がより専門性を活かせるよう、各職種の業務範囲の拡大等を行う」について、必要となる法律等の一部改正が令和3年10月1日に施行されました。

臨床検査技師の業務範囲の拡大についても、現行制度では実施できない業務について法改正等が行われ、10の行為が新たに国家資格への業務追加となりました。

この10の行為の資格を取得し業務拡大に繋げる為には、厚生労働大臣が指定する講習会(基礎研修Web(オンデマンド方式) 700分・都道府県単位で開催する実技講習360分 合計 1060分)の受講が必須となります。(ただし、2022年度以降に養成校へ入学した学生からは授業のカリキュラムに組み込まれるため、国家試験合格とともに10の行為は可能となります。)

今回の法改正において、医師の働き方改革からという観点だけではなく臨床検査技師が新たなチーム医療の場で活躍できるチャンスと捉えています。

現在、AMG検査部ではタスク・シフト/シェアについての詳細な情報を共有するとともに、500名を超える臨床検査技師資格を保有する職員全員の受講を目指し取り組んでおりますが、実技講習会は定員制で、毎月一回都県単位での開催となっているため、

短期間での全員取得は難しく、各施設に於いて本格的な稼働はもう少しかかると思われる。しかしながら、新たな行為の資格取得のみで終わることのないよう、各施設のニーズや実情に合わせた形でのタスク・シフト/シェアを実行していきます。

臨床検査部会長 鈴木 朋子

法改正予定の行為 (最新の政令案)	基礎研修 (web)	実技講習(都道府県開催)	
		実技動画 視聴	手技講習 (1人当たり)
採血を行う際に静脈路を確認し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン加生理食塩水を充填する行為	100	10	80
採血を行う際に静脈路を確認し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為(電解質輸液の点滴を実施するためのものに限る)	100	10	
超音波検査のために静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為	100	20	30
採血を行う際に静脈路を確認し、当該静脈路に血液成分採血装置を接続する行為、当該血液成分採血装置を操作する行為並びに当該血液成分採血装置の操作が終了した後に抜針及び止血を行う行為	50	10	
医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為	100	10	70
直腸門機能検査	50	10	40
内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為	100	10	40
運動誘発電位検査	100	20	260
体性感覚誘発電位検査	100	20	
合計時間数(分)	700	100	360
		1060	

(一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会:会報JAMT Vol.27 号外2 より)

## AMG ソーシャルワーカー部 オンライン研修会 開催報告

2021年11月19日、ソーシャルワーカー(以下、SW)部研修会を開催しました。今回は2部制。前半、SW部の吉田室長が「医療と介護の歴史とSW。AMG SW部創設と目的」というテーマで、AMGグループの歴史とその背景にある医療介護政策の変遷、今年度SW部発足した背景について講演。後半は、全日本病院協会SW研修の講師であり、日本医療ソーシャルワーカー協会の元会長である佐原まち子先生が「これからのSWのあり方」というテーマで、ご自身の経験談も交え、変化の激しい社会の中で、SWの価値・倫理を振り返ること、あり方を見つめ直す重要性について講演。SW部発足後、初めての研修に、50施設88名のSWが参加し、学びを深めました。

### AMGの歩みと関連分野の政策④

年	AMG関連	保健医療福祉政策	MSW関連
2012年	リハビリケアつかつか 藤田病院 あつぼ一む習志野	障害者総合支援法 社会保険と税の一体改革期 運法成立	認定医療社会福祉士誕生 (2010年) 回復期リハビリテーション入院 基本料   社会福祉士配置
2015年	リハビリケア船橋	医療介護総合確保推進法 (2014年) 国民健康保険法等の改正 医療法改正	豊野ソーシャルワーカー連盟(300名) (2012年) 国民健康保険法(2014年) 船橋市リハビリテーション連携推進 船橋市で専従 社会福祉士(2014年)
2019年	横浜鶴見リハビリテーション病院 医療相談研究会一経営管理 本部地域包括ケア部設置	地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部改正(2017年)	「ソーシャルワーク専門職 社会福祉士に求める役割」社会保険福祉会発表(2018年)
2021年	部門支援部 ソーシャルワーカー創設 ソーシャルワーカー研究発表		ソーシャルワーカー倫理綱領 改定(2020年)

教えてもらうだけではなく、後輩指導等も出来るよう、日々経験と知識を蓄えたい。  
上尾中央第二病院 今井さん

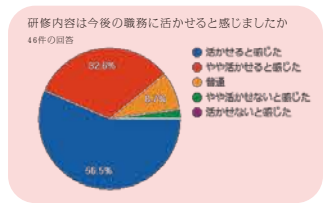
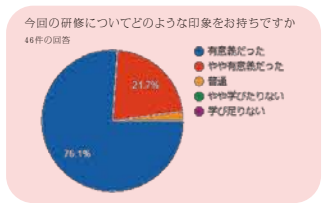
### メゾの実践力

- 組織アセスメントと連携・交渉力
- 組織への貢献の明確化
- 地域アセスメントと連携・交渉力
- 実践の可視化のための統計
- 実践をまとめて発表する力
- 記録文章、報告書などの実践の文字化
- SWの質を育む育成計画

講義を聞いてSWにもっと深く考えたい、研鑽したいと仕事の活力となりました。今後SWの実践力をあげるため、院内や個人でもできることから取り組みます。  
東川口病院 小川さん



社会資源の1つとして、どうSWは在るべきなのか考えた。社会全体から利用者・家族をとらえ、この地域での「生活者」であることを理解すると共に、所属する地域性の理解を深めていきたい。  
HC流山 君塚さん



# 2021-22 V.LEAGUE DIVISION1 途中結果報告



2021-22V.LEAGUE DIVISION1 WOMENは2月20日まで終了して、埼玉上尾メディックスは11勝7敗で6位につけており、終盤戦のラストスパートで優勝争いの権利が残るレギュラーラウンド3位以内を目指します。

昨シーズンは終盤の追い上げも適わず、リーグ戦は5位に終わりました。しかしその後に行われたVCupではその悔しさを晴らすかのように連勝を続けて初のビッグタイトルを獲得することができました。今シーズンはマルコス監督2年目となり、リーグ戦初優勝を目指しチーム力の底上げを夏場に図ってきました。手応えを感じながら開幕を迎え、岡山シーガルズに連勝スタートを切りましたが、リーグ戦二連覇中のJTマーヴェラスに両日と逆転で連敗を喫すると、昨シーズン終盤見せたセンターからのクイックを効果的に織り交ぜた攻撃が相手に封じられ、勝ち星をなかなか積み重ねることができません。12月の皇后杯・全日本選手権でもベスト8に終わるとチーム力はもちろん個々の技術アップを図りました。1カ月の中断で課題解決に臨むと、内瀬戸、山岸の安定したサーブレシーブ、サンティアゴの高さ、青柳の変幻自在な移動攻撃、佐藤の強肩を生かしたスパイク、そしてロレイネのパワーあふれるスパイクがかみ合いKUROBEアクアフェアリーズに2連勝。その後、新型コロナウイルス陽性者を出したため、中止並びに再試合となりましたがチーム一丸となり戦っています。優勝目指して頑張りますので、引き続きの応援、よろしくお願い致します。

対戦成績  
(2月20日現在)  
順位 第6位

チーム	JT	東レ	久光	NEC	デンソー	PFU	日立Astemo	岡山	姫路	トヨタ車体	KUROBE	試合数	勝	負	ポイント	勝率	得セット	失セット	セット率
埼玉上尾	● 1-3 ● 0-3		● 0-3 ○ 0-3		○ 3-1 ● 2-3	● 0-3 ○ 3-0	○ 3-1 ● 2-3 ● 2-3	○ 3-2 ○ 3-0		○ 3-1 ○ 3-0	○ 3-1 ○ 3-0	18	11	7	34	0.61	40	30	1.33



## 上尾市栄誉賞受賞

この度、埼玉上尾メディックスが2021年2月27日～3月28日に開催されました2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN Vcup 優勝の功績が認められ、「上尾市栄誉賞」を受賞しました。

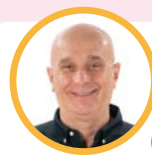
2021年11月12日に上尾市コミュニティセンターのリニューアル記念式典の中で贈呈式が行われ、アントニオ・マルコス・レルバッキ監督ならびにキャプテンの山岸あかね選手をはじめ、全選手が参加しました。



畠山稔市長と記念撮影

## リサイクルグッズ販売

11月27日、28日に川越総合運動公園体育館にて開催されましたホームゲームでは、選手たちが使用していたウェアをリサイクルして、新たにグッズを制作し販売を行いました。収益の一部はシーズン終了後に寄付をする予定です。



### アントニオ・マルコス・レルバッキ監督挨拶

本日はこのような賞状をいただき大変光栄に思っております。我々上尾メディックスは皆様からのご支援ご声援を沢山いただき、昨シーズンのVカップでは優勝という結果を残すことができました。そして上尾市民の方々や、上尾市を支えてくださる皆様のご声援が我々の力になりますので、引き続き上尾メディックスのご支援ご声援の程宜しくお願い致します。ありがとうございました。



### 山岸あかねキャプテン挨拶

選手を代表して御礼を申し上げます。本日は市民栄誉賞をいただき、誠にありがとうございます。現在は2021年のリーグ戦を戦っております。この賞を糧に優勝目指しより一層精進して参ります。引き続き畠山市長様をはじめとする上尾市の皆様にはご支援、ご指導をたまわりますよう、お願いいたします。ありがとうございました。

埼玉上尾メディックス



桶川市と『連携協定に関する協定』を締結

埼玉上尾メディックスは桶川市と『連携協定に関する協定』を締結いたしました。この協定は、桶川市と埼玉上尾メディックスが協働して取り組む事業を通じて、地域社会の発展、市民福祉の向上に寄与する目的で締結されました。2021年11月14日に桶川サンアリーナにて締結式が行われ、桶川市から小野克典市長、堀口守副市長、岩田泉教育長、家徳丈夫教育部長が出席、埼玉上尾メディックスからは中島里史部長、肥留川正弘ゼネラルマネージャー、山岸あかねキャプテンが出席しました。



連携協定締結式の様子



プライドリームス埼玉 親子スポーツクリニック2021

2021年1月14日の埼玉県民の日、桶川サンアリーナにて4年ぶりに『プライドリームス埼玉親子スポーツクリニック2021』が埼玉県に在住の小学生とその保護者を対象に行われました。

埼玉上尾メディックスからは岩崎こよみ選手、蓑輪貴幸コーチ、富田直人コーチがコーチとして参加し、メディックスをもっと知ってもらうための講義やボールを使ったバレーボール体験を行いました。



コーチングスタッフを紹介する蓑輪貴幸コーチ



アタックを教える岩崎こよみ選手



参加者に積極的に声掛けをする富田直人コーチ



参加者の皆さんと集合写真



岩崎こよみ選手が上尾市立大石中学校にて講演を行いました

岩崎こよみ選手が12月7日、上尾市立大石中学校で講演を行いました。「人生は選択の連続」の題目で主に中学校3年生の生徒の皆さんに向け、彼女の選手選択を主体にお話しをさせていただきました。岩崎選手のこれまでの夢は「1.海外移籍をしたい。2.妊娠・出産をして復帰をしたい。3.両親に家建ててあげたい。」でした。これまで夢を過ぎてきた岩崎選手の新たな夢は「引退するまでにVリーグで優勝したい。」です。その夢を適えようと14シーズン目を迎える今も必死に努力を続けています。引き続き、岩崎こよみ選手と埼玉上尾メディックスへのご支援・ご声援をお願い致します。



上尾市立大石中学校の皆さんと岩崎こよみ選手



天皇杯・皇后杯全日本選手権大会結果

12月10日~12日、群馬県高崎アリーナにて天皇杯・皇后杯全日本選手権大会ファイナルラウンドが開催されました。埼玉上尾メディックスは1回戦、2回戦を順当に勝ち上がり、2度目のセミファイナル進出をかけてPFUブルーキャッツと対戦しましたが、残念ながら1-3で準々決勝敗退となりました。

12月10日の北海道代表・アルテミス北海道との対戦では、出産・育児休暇を明けて復帰へ向けて準備を進めていた岩崎こよみ選手が公式戦復帰を果たしました。また1・2回戦では若い選手たちの活躍もあり、シーズン後半戦へ向けて明るい兆しの見えた大会となりました。

公式戦復帰を果たした岩崎こよみ選手▶



思い切りの良いスパイクを連続で決めた目黒安希選手



若手の活躍も光った皇后杯

試合結果

1回戦

埼玉上尾メディックス 2 (25-16, 25-15) 0 アルテミス北海道

2回戦

埼玉上尾メディックス 3 (25-23, 25-19, 25-22) 0 筑波大学

準々決勝

埼玉上尾メディックス 1 (22-25, 25-21, 21-25, 20-25) 3 PFUブルーキャッツ

# 総務課育成プロジェクト活動中! ~中間報告~

総務課育成プロジェクトが進行中です!

昨年12月に各チームより中間報告をご提出いただきましたので紹介させていただきます。

引き続きコロナ禍での活動となりますが、3月の最終報告会に向けて準備を進めて参ります!



## 中間報告の一部をご紹介します!

### 総務課～離職防止/育成に向けた取り組み～

メンバー間での現状把握から問題、課題を抽出。各病院の環境や業務体制について調査確認。AMG(総務課)の職場環境や業務体制等知る為に病院に向けたアンケートを作成することでグループ全体の現状を把握し、問題、課題を抽出する。最終的には職員の離職防止や次世代育成へ向けた提案が出来ることを目的とする。

	氏名	感想
リーダー	高野圭介	積極的なメンバーに支えられています。次世代の職員へ少しでも還元できればと思います。
メンバー①	木村弓希子	他病院や施設の方の意見を聞くことで参考になり、自病院の離職防止にも役立てられる。
メンバー②	秋山沙也香	それぞれの病院の業務内容や課題など詳しく聞けてとても勉強になっています。
メンバー③	青木優歩	プロジェクトを通し他施設の様子を知ることが出来て良かったです。

### 固定資産管理

①それぞれの施設にて固定資産台帳のリストをもとに、どこの部署の固定資産か特定して、エクセルにて資産管理できる表を作成する。②上記の表を基に、今後は自部署の固定資産は自部署で管理できるようにする。③②をスムーズにできるように固定資産除却申請書を各部署にて提出して管理できるようにする。

	氏名	感想
リーダー	松本裕史	他施設との交流はとても有意義です。ただリーダーとしてまとめることの難しさを痛感しています。
メンバー①	原田純子	積極的な発言がみられます。
メンバー②	高瀬敦也	やりがいを感じるが、現状の課題が大きすぎて、期間内での達成に若干不安感がある。
メンバー③	矢部裕紀	難しいテーマですが意見をもっと出せるようにしたいです。

### 災害対策

大規模災害があった際、施設の継続又は早期復旧を行うための業務継続計画を令和6年3月までに策定しなければならない。今回のプロジェクトにおいて、作成方法及び内容のポイントを収集し、グループ内の作成の一助となるよう構築し発表する。

	氏名	感想
リーダー	佐々木陽介	自施設での業務継続計画の勉強会での進め方等、勉強になる。
メンバー①	佐伯時宗	施設での業務継続計画作成に役に立つ。
メンバー②	高田悠太	プロジェクト以外での情報共有といった繋がりがもてる。
メンバー③	塩尻雄三郎	施設の災害対策も分らなかったのが勉強になる。

### ペーパーレスによる経費削減、作業効率UP

各自施設で出来るペーパーレス化に伴う経費削減・作業効率UP

	氏名	感想
リーダー	大山修史	最初は緊張していたが、回を重ねるごとに良い雰囲気が出ています。
メンバー①	篠原孝	施設規模が違うため、多様な意見が発見され勉強になっています。
メンバー②	熊上傑	日常的に様々な面でコスト削減が可能であるということを学べた。
メンバー③	屋代睦実	他施設の方々と関わることができてとても楽しいです。

### 広報活動

指針を初心者でもわかるHP担当マニュアル作成に決定。HP制作の中で、「自病院の機能や特徴を知る」ことを。

	氏名	感想
リーダー	高橋暁久	HP管理の知識を皆で学びながら進めています。
メンバー①	神谷雄貴	自院にも役立つ知識を持ち帰る事の出来るよい機会になっています。
メンバー②	外館涼	いままでとは違った目線で、HPを見ることが出来る様になりました。
メンバー③	西拓馬	自分の知識の幅を広げる良い機会になっています。
メンバー④	稲守翼	各病院が各々意見を出し合えて様々な角度からアイデアが生まれて充実しています。

最終報告会まで  
ラストスパート!  
頑張っていきましょう!!

